

福祉医療「卒業生を囲む会」～特集号～

平成29年5月24日(水)実施

※CPは7月6日開催予定

☆ 参加くださった卒業生（写真右から）



◎ 齋藤 聖人さん

勤務先：すどデイサービスセンター 《ケアワーカー・相談員補助》

◎ 原 直希さん

勤務先：中伊豆リハビリテーションセンター 《生活支援員》

◎ 青木 千紘さん

勤務先：特別養護老人ホーム なごみ 《介護福祉士》

◎ 八木 美樹さん

勤務先：やなぎた眼科医院 《医療事務》



4名の卒業生においでいただき、現在の仕事内容や学生時代のこと、社会人として必要なことなど、貴重なお話を伺いました。以下は、その抜粋です。

- ・ 実習は、学校では学べないことが学べるチャンス！毎日、目標を立てていくことが大切！
- ・ 同級生やクラスの仲が良かった。いまでも交流があり、そのおかげでこの仕事を続けていられるところもある。仲間を大切にしてください。
- ・ 中村学園で身に付けた「挨拶の励行」、礼儀を重んじることだと思います。社会に出ると、勉学の内容よりも先に、礼儀正しさが求められるように感じます。コミュニケーションを意識して、毎日を有効活用することが大切！
- ・ 現場では、医療知識も大事だが、それ以上に言葉遣いなどの接遇が大切。学生のうちから力を入れて学んでほしい。

この他、在校生からの質問にも熱心に答えてくださり、とても有意義な時間を過ごせました。



☆ 「卒業生を囲む会」で学んだこと

☆ 明確になった目標

医療情報秘書科 1年 高岡 李歩

今回は、実際に医療や福祉の現場で働いている先輩方のお話を聞くことができ、とても良い体験でした。就職をより良いものにするためには、「実習」がとても大事になってくるのだということが分かりました。

受付や会計の他に、診療補助や手術道具の消毒なども仕事としてあるとおっしゃっていました。いろんな仕事を臨機応変に対応してこなせるようにならないといけないと思いました。

また、業務をこなすのも大事ですが、患者様のクレーム対応やコミュニケーションをとることが第一だと話を聞いて、患者様に対する言葉遣いは特に気を付けなければいけないと思いました。普段から習慣づけていけば自然にできることなので、意識して毎日を過ごしたいと思います。挨拶も笑顔を忘れずに相手の目を見て行うことで、病院全体の雰囲気を良くしたり、患者様の不安を少しでも和らげていくことができるのだと考えました。

毎日の生活で目標を立て過ごすことで態度や表情も変わってくると思いますので、より一層気持ちを高め頑張りたいと思います。



☆ 必要としていただける介護福祉士になるために・・・

介護福祉学科 1年 中川 希

卒業生の方々のお話から沢山のことを学びました。

先輩方のお話しに、「介護福祉士は、利用者様の人生に密接に関わる職業である」とありました。利用者様の人生に関わるということは、私自身の言動でその方の人生を変えてしまうことがあるのかもしれない・・・と責任の重みについて考えることができました。

また、利用者様が頑張ろうとしているのに、それを否定したり、やる気を損ねたりする言葉を発することで、その方の人生を否定することになる・・・ということも学びました。

授業の中で学んでいる「多職種協働・連携」「根拠ある介護の提供」は、利用者様やそのご家族に説明でき、安心してもらい、信頼してもらうために非常に大切なことだと学びました。その実現のために、「礼儀正しさ」「言葉づかい」「自然にできる挨拶」が普段からできるように意識しようと思いました。また、日々の中で目標を立てることを心がけ、日々学べる姿勢を持ちたいと強く感じました。

最後に、先輩方が「やりがい」を持ち仕事している姿に感銘を受けました。私も利用者様に必要とされ、やりがいを持って働ける介護福祉士になりたいと強く感じました。



～在校生より～

☆ 学生のうちに学ばべきこと

総合福祉学科 2年 前田 晴香

私は「卒業生を囲む会」で、多くのことを学ぶことができました。先輩方の話を聞くなかで、就職してからでも現在授業で受講している「生活支援技術」の基礎が大切だと思いました。1年時の実習で、麻痺の利用者様や、認知症があり意思の疎通が難しい利用者様などと接してきました。そのなかでも、※脱健着患が頭に入っていること、認知症の方の生活支援の仕方が分かっていることがとても重要だと感じました。「生活支援技術」の授業は週1日と少ない授業日数のため、わからないことをすぐ先生に聞くなど、課題を自分だけで抱え込まないようにしていきたいと思います。

また、人間関係の構築も大切だと思いました。介護では、他職種との連携が重要です。職員の関係性が良好に保たれていなければ、利用者様のことに集中できなくなってしまうなど、利用者様にも影響を与えてしまうとても重要なものだと思います。そのため第3期実習では、介護計画の立案を通して、職員様とのコミュニケーションの図り方も学んできたいと思いました。

今回お話ししてくださった先輩方が、仕事のやりがいについて「利用者様の笑顔」とおっしゃっていました。私も将来、利用者様に「この施設に来てよかった」と思ってもらえるような支援、生活により添えることができる介護福祉士を目指していきます。

※脱健着患とは・・・（衣服を）脱ぐときは問題のない健康なほう（健側）から、着るときは病気や怪我、麻痺などのあるほう（患側）から」という意味。

ありがとう

卒業生の皆さん、お忙しい中貴重なお休みの日にご参加くださり、ありがとうございました！！



7月の行事

- ★ 7/1(土) 2TW・CW「第3期実習」(～7/29)
- ★ 7/2(日) ビジネス能力検定
- ★ 7/6(木) CP「卒業生を囲む会」
- ★ 7/8(土) オープンキャンパス (13:15～)
- ★ 7/14(金) 漢字検定
- 7/17(月) 海の日
- 7/20(木) 3CP「面接指導」
- 7/22(土) サマーSpオープンキャンパス Fes, (13:15～)
- 7/24(月) 2MIS「夏期病院実習」(～8/31)
- 7/31(月) 3TW「第5期実習」(～8/25)

福祉医療（CP 以外）「面接指導」を終えて

☆「介護観」を見つめ直した面接指導

総合福祉学科 3年 山梨 健介

5月25日の面接指導は、自分の現状を確認し、そして将来のことを見詰め直す良い機会になりました。

面接指導を受けるうえで一番苦労したのは「自己PR」です。自分は他人からどのような印象を持たれているのか、周りの人に聞いてみるなど、自己覚知を行うことから始めました。具体的には、「なぜ自分が介護の道に来たのか」、「私は、介護福祉士としてどのように就職先・社会へ貢献していきたいのか」を考えたのです。その結果、「生活支援をする際には、上辺だけではなく、利用者を理解し、ニーズを汲み取り寄り添うことができる介護福祉士になる」という将来の目標が明確になりました。

実際の面接指導の際には、先生方から「施設が求める人材像をしっかり把握し、伝えたい内容に組み込んだ方が良い」とご指導をいただき、施設のパンフレットやHPをもっと確認するべきだったと反省しました。

私は、実家の近隣の特別養護老人ホームに就職したいと考えています。今回の面接指導を通して見つけた課題を前向きに捉え、克服しながら内定を勝ち取る所存です。

ご指導くださった校長先生、教頭先生、諸先生方、誠にありがとうございました。



☆緊張を乗り越えてついた自信

介護福祉学科 2年 青木 はるか

先日、就職のための面接指導を行っていただきました。自分の就職したい施設へ向けて履歴書を書き、立ち振る舞いや面接の受け答えの練習など、時間をかけて準備をしてきました。

私は面接がとても苦手な、自分で思っていることや考えていることを面接官に伝えることが難しかったのです。練習を何度もしましたが、当日はかなり緊張してしまいました。

しかし、面接指導をしていただいたおかげで、本番の就職試験に立ち向かっていけそうな気持ちになりました。本番の試験の際にはご指導いただいたことを実行し、無事に内定をいただけるように頑張ります。

ご指導くださった校長先生はじめ諸先生方、辛いとき励まし支えてくれたクラスメイトに感謝いたします。これからも自分の「売り」である笑顔や明るさを大切に、希望のところへ就職し、仕事を通して自己実現を図っていきます。



広報室より

サマーS pオープンキャンパスF e s. 開催！！

企画広報室 高橋 達也

紫陽花の花にかわり、ひまわりの花が咲き始め、もうすぐ夏！卒業年次の方々にとっては就職活動も本格化していき、今後の人生を決める大切な時期がやってきます。各自で体調管理に努め、いい結果に繋がるようがんばりましょう。

さて、本学では6/1(木)より「AO入学選考のエントリー受付」を開始しています。例年、エントリー者の中には、『先輩に聞いた』『オープンキャンパスで先輩たちが優しくて入学したいと思った』等、嬉しい声を耳にします。皆さんが受験した際はいかがでしたか？進路決定に向けて色々悩んだり、エントリーシートや願書提出の時は緊張したり…みんな色々なことを考えながら過ごしていたと思います。高校生の方々もそんなドキドキと共に学校見学に来たり、オープンキャンパスに参加したりしています。在学生の皆さんにもアシスタントをお願いする機会がありますので、本学で会った際には是非、やさしく激励の声をかけてあげてください。

また、夏休みにかけて、スペシャルオープンキャンパスF e s. を開催予定です！夏祭りのイメージを取り込んだ、縁日風のフェスティバル！！「駄菓子屋」等のイベントもあります！企業人や卒業生の方々に来校していただき、仕事の様子等の話をしてもらい、一緒に体験授業をしたりして、将来目指す仕事や職業について、より深く知っていただく機会にしたいと思います。楽しみ満載のオープンキャンパスです！！

在校生の皆さんにも参加していただき、体験授業のアシスタント等をお願いする予定です。皆さんの後輩等で、「将来、電子情報／福祉医療の分野を目指したい！」という方がいましたら、是非オープンキャンパスへの参加を勧めてください。一緒に楽しく体験授業に参加しながら、進路を決定していければ良いですね。もちろん、在学生の皆さんの参加も大歓迎です！私たちも、将来の希望に溢れている高校生の方々が本学に来てくれるのを、とても楽しみにしています。皆さんの力で、中村学園を更に盛り上げていきましょう！宜しくお願いします！



○体験入学、学校・学科説明会、なんでも相談会

ⓈPは、夏休みスペシャルオープンキャンパスの略！ⓈP F e s. は、夏祭り風！！

・7月 8日(土) 13:15～15:45

ⓈP F e s. 7月22日(土) 13:15～16:15

ⓈP 8月 5日(土) 13:15～16:15

ⓈP 8月26日(土) 13:15～16:15

企業は あなたのチャレンジを待っている！

進路室長 橋野 幸男

先月、県内企業の採用動向に関する2つのレポートが発表されました。

①「深刻化する人手・人材不足の実態～県内企業における人手・人材不足の実態アンケート調査結果～」(6月6日、静岡経済研究所)
②「静岡県における『新卒者採用の実態調査』及び『就職活動時の実態調査』集計結果報告」(6月20日、しずおか産学就職連絡会)

①については既に「進路部会」で紹介済みですので、ここでは②の内容を概観します。

≪2017年3月卒業者の採用活動について≫

- ・「採用計画人数を充足できなかった」企業の割合は、52.0%。また、「最終入社人数が0人」の企業が、22.1%。(前年比2.1ポイント増)
- 特に、「従業員規模49人以下」では、43.8%。
- ・計画人数を下回った理由では、「応募がなかった」が最多の30.8% (昨年比8.9ポイント増)。次いで、「応募者が少なかった」が24.0%。
- ・未充足分の補充については、「補わなかった」が42.9%、続いて「社会人の中途採用で補った」が39.7%。

≪2018年3月卒業者の採用活動について≫

- ・「採用しにくくなりそう」とする企業が、58.3%。特に、“300人以上”の企業では、68.1%。
- ・「エントリー数」、「説明会参加学生数」の前年比較では、「増えた」がそれぞれ約13ポイント、15ポイント減少し、「減った」とする企業割合が4割弱(35.5%、39.3%)。
- ・首都圏の企業の旺盛な採用意欲と活発な採用活動の影響から、県内企業は、従業員規模に関係なく、厳しい状況になっている。

さて、本学では、採用活動が先行するIT分野で「内定・内々定者」が学生の半数に至っています。一方で、いわゆる「お祈りメール」(不合格通知。「今後のご健闘をお祈り申し上げます」などの文言で結ばれている)を残念ながら複数手にした者もいます。

しかし、「まず、5社落ちてみるべし」が就活の鉄則の一つである、というアドバイスもあります。5社ほど落ちてみると、志望先の「向き、不向き」「合う、合わない」が分かってくる、という趣旨です(5月26日、日経カレッジカフェなど主催「就活生の保護者向けセミナー」での、人材コンサルタント・常見陽平氏の発言)。

これからは、「夏休み前には決める！」という強い意志を持ち、そして、自分が活躍できるという意味での「身の丈に合った企業選び」(同セミナー、大学キャリア支援室・特任教授・西山昭彦氏)を進めていきましょう。

人材・人財が欲しい地元企業は、皆さんがチャレンジしてくれるのを待っています。

